

# 今治市農業委員会 総会 議事録

1. 開催日時 令和7年11月27日(木)  
午後2時00分から午後2時35分まで
2. 開催場所 今治市役所 本庁 第2別館11階 特別会議室1、2号
3. 農業委員の定数及び出欠等

定数 24名(現に在任する委員 24名)

議長(会長) 12番 桑田 誠(会議規則第7条)

出席委員数 16名

【1番】矢野 丈一	【2番】渡邊 節夫	【4番】岡林 興通
	【6番】高宮 出	【7番】近藤 徹也
【9番】竹田 清隆	【10番】渡部 弥栄	【11番】越智 信彦
【13番】青木 久子	【14番】越智 千保子	【15番】新居田 守
	【18番】岡田 勝利	【19番】河野 哲也
	【22番】藤井 進也	【23番】木村 誠
		【24番】近松 安文

欠席委員数 8名

【3番】八木 良太	【5番】井出 秀司	【8番】益田 志郎	【12番】桑田 誠
【16番】渡部 正義	【17番】村上 晋太郎	【20番】白石 義廣	【21番】藤原 清久

4. 議事に関与する職員

局長	砂田 征典
次長	新居田 伸一郎
次長	森本 猛
主事	八木 悠斗

## 5. 議事

### 【農地法関係議案】

議案第 55 号

農地法第 2 条第 1 項の「農地」の判断について (受付番号 1~8)

議案第 56 号

農地法第 3 条の規定による許可申請について (受付番号 1~4)

議案第 57 号

農地法第 5 条の規定による許可申請について (受付番号 1~3)

議案第 58 号

農用地利用集積等促進計画関係 (農地中間管理事業) について (受付番号 1~10)

報告第 32 号

農地法第 3 条の 3 の規定による届出について (受付番号 1~12)

報告第 33 号

農地法第 5 条第 1 項第 6 号の規定による届出について (受付番号 1)

## 6. 議事録

事務局	<p>定刻が参りましたので、ただ今から「令和7年度 第9回総会」を始めさせていただきます。</p> <p>本日は、委員 24 名中 16 名の出席となっており、「農業委員会等に関する法律第 27 条第 3 項」の規定による過半数に達しておりますので、本会が成立していることをご報告いたします。</p> <p>なお、総会の議長につきましては、桑田会長が他の用務で不在のため、「今治市農業委員会会議規則第 8 条」の規定により、会長不在の場合は職務代理者が会長の職務を行うことになっておりますので、以降の議事進行につきましては、藤井職務代理者により進めていただきます。</p>
議長	<p>それでは、ただ今から「令和7年度 第9回総会」を開会いたします。</p> <p>事務局から説明がありましたとおり、規則により私が議長を務めさせていただきます。議事運営にご協力よろしくお願いたします。</p> <p>まず、本日の議事録署名人を指名させていただきます。</p> <p>今回は、議事録署名人に【10番】渡部 弥栄 委員、【19番】河野 哲也 委員の両委員を私から指名させていただきます。</p>
議長	<p>それでは、議案の審議に入ります。</p> <p>議案第 55 号 農地法第 2 条第 1 項の「農地」の判断について事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>それでは、ご説明いたします。議案書 1 ページをお開きください。</p> <p>議案第 55 号は、農地法第 2 条第 1 項の「農地」の判断についてでございます。</p> <p>[受付番号 1] 申請地は大西町紺原にある農地 4 筆で、登記地目は畑、面積は合計 2,870 m<sup>2</sup>でございます。</p> <p>[受付番号 2] 申請地は菊間町長坂にある農地 4 筆で、登記地目は畑、面積は合計 11,730 m<sup>2</sup>でございます。</p> <p>[受付番号 3] 申請地は吉海町名にある農地 2 筆で、登記地目は田、畑、面積は合計 646 m<sup>2</sup>でございます。</p> <p>[受付番号 4] 申請地は伯方町木浦にある農地 3 筆で、登記地目は畑、面積は合計 3,074 m<sup>2</sup>でございます。</p> <p>[受付番号 5]</p>

申請地は伯方町叶浦にある農地 1 筆で、登記地目は畑、面積は 93 m<sup>2</sup>でございます。

[受付番号 6]

申請地は関前岡村にある農地 5 筆で、登記地目は畑、面積は合計 1,988 m<sup>2</sup>でございます。

[受付番号 7]

申請地は関前岡村にある農地 1 筆で、登記地目は畑、面積は 1,087 m<sup>2</sup>でございます。

続きまして、議案書 1 ページの合計は、7 件、20 筆、面積 21,488 m<sup>2</sup>となっております。地元委員さん 1～3 名、事務局で現地調査を行い、その後、各小委員会において審議の結果、国から示された「農地法の運用について」第 4 (4) アの「その土地が森林の様相を呈している」など農地に復元するための物理的な条件整備が著しく困難な場合に該当しており、非農地であるとの意見でありました。

以上で、説明を終わります。

議長

説明が終わりましたが、ご意見、ご質問ありませんか。

全員

(意見、質問なし)

議長

原案どおり非農地と判断することに、ご異議ございませんか。

全員

(異議なし)

議長

それでは、原案どおり非農地と判断いたします。

議長

続きまして、議案第 56 号 農地法第 3 条の規定による許可申請について事務局の説明を求めます。

事務局

それでは、議案第 56 号についてご説明いたします。  
議案書 2 ページをご覧ください。

[受付番号 1]

譲受人は〇〇才の会社員、申請地は 5 筆で、地目はいずれも田、面積は合計 2,101 m<sup>2</sup>で、現在、水稻を栽培しております。今回、譲受人が新規耕作のため、売買による所有権移転を受けるものでございます。

[受付番号 2]

譲受人は〇〇才の獣医師、申請地は 2 筆で、地目はいずれも田、面積は合計 894

m<sup>2</sup>で、現在、水稻を栽培しております。今回、譲受人が新規耕作のため、売買による所有権移転を受けるものでございます。

[受付番号 3]

譲受人は〇〇才の農業者、申請地は 1 筆で、地目は田、面積は 1,160 m<sup>2</sup>で、現在、野菜を栽培しております。今回、譲受人が規模拡大のため、使用貸借権を設定しようとするものでございます。

[受付番号 4]

譲受人は〇〇才の農業者兼会社役員、申請地は 3 筆で、地目は田、面積は合計 4,576 m<sup>2</sup>のうち 0.62 m<sup>2</sup>です。今回、譲受人である法人が営農型太陽光発電施設を設置し、パネル支柱の基礎部分等に区分地上権の設定をするものであります。

続きまして、お手元にお配りしている農地法第 3 条第 1 項許可申請に係る申請書ごとの要件確認書をご覧ください。

農地法第 3 条第 1 項許可申請に係る要件確認書は 1 ページから 8 ページまでとなります。

それでは、農地法第 3 条に基づく審査基準を要約して説明いたします。

①譲受人等がその取得後において、機械の所有状況、農作業に従事する者の数等からみて、すべての農地において効率的に利用して耕作される考えや能力があるかどうか

②農地所有適格法人以外の法人が取得しようとしていないか

③信託の引受けにより権利を取得しようとしていないか

④譲受人等が農作業に常時従事しているかどうか

⑤小作地を他人に転貸、質入れしていないか

⑥農地の集団化や周辺地域の総合的利用等に支障を生ずることがないか

ということでございます。

今回の案件について、審査基準のすべての項目ごとに、申請書等に記載された内容が当該基準に適合しているかどうか検討した結果は、要件確認書のとおりとなっており、許可要件の全てを満たしていると考えられ、適当であります。また、地区小委員会におきましても、現地確認の上、適当との意見となっております。

以上で説明を終わります。

議長

説明が終わりましたが、ご意見、ご質問ありませんか。

全員

(意見、質問なし)

議長

許可することに、ご異議ございませんか。

全員

(異議なし)

議長

それでは、許可することといたします。

議長

続きまして、  
議案第 57 号 農地法第 5 条の規定による許可申請について  
事務局の説明を求めます。

事務局

それでは、議案第 57 号について、ご説明いたします。  
議案書 3 ページをご覧ください。

[受付番号 1]

譲受人は太陽光発電装置の設置工事業等を営む法人、譲渡人は農業者兼会社役員 1 名、申請地は朝倉地区朝倉南の 3 筆で、地目はいずれも田、転用面積は合計 4,576 m<sup>2</sup>の内 0.62 m<sup>2</sup>でございます。

この申請地は市街化調整区域であり、農地の区分につきましては、3 筆とも農用地区域内農地であり、申請に係る農地に代えて周辺の土地を供することにより、当該申請に係る事業の目的を達成することが出来るかどうかにつきましては、譲受人が営農型太陽光発電施設を整備するにあたり、必要な条件の整った土地は申請地以外にないとの申出で、3 年以内の一時転用であることから、農地の区分と転用目的は問題ないと思われま

す。事業計画につきましては、譲受人は、より確実な売電収入を得ることで安定した経営を図ることを目的として、譲渡人が申請地にサカキを植えて営農を行いながら、譲受人が支柱を立てて太陽光パネルを設置する営農型太陽光発電施設を整備するため、太陽光パネルの支柱基礎部分の一時転用をしようとするものでございます。

申請年月日、農業委員会の受付日は令和 7 年 10 月 31 日で、許可日から令和 8 年 2 月 28 日までに事業を完了する予定となっております。

[受付番号 2]

譲受人は土木建築工事等を営む法人、譲渡人は無職の者 1 名、申請地は朝倉地区朝倉上の 1 筆で、地目は田、転用面積は 9.01 m<sup>2</sup>でございます。

この申請地は都市計画区域外であり、農地の区分につきましては、概ね 10ha 以上の規模の一団の農地であるため、第 1 種農地と判断されますが、申請に係る農地に代えて周辺の土地を供することにより、当該申請に係る事業の目的を達成することが出来るかどうかにつきましては、譲受人が従業員休憩所及び倉庫を整備するにあたり、必要な条件の整った土地は申請地以外にないとの申出であり、第 1 種農地の例外許可事由である集落接続に該当していることから、農地の区分と転用目的は問題ないと思われま

す。事業計画につきましては、譲受人は従業員の福利厚生と不足している機械器具の置場を確保するため、譲渡人から申請地を購入し、隣接する宅地と一体利用して、従業員用休憩所及び倉庫を整備しようとするものでございます。

申請年月日、農業委員会の受付日は令和7年10月31日で、許可日から令和8年3月31日までに事業を完了する予定となっております。

なお、本件は違反案件ではありますが、第3小委員会で協議を行い、追認もやむを得ないとの判断に至っております。

違反内容につきましては、違反転用報告書をご覧ください。

[受付番号3]

譲受人は土木建築工事の請負やコンサルティング業等を営む法人、譲渡人は農業者1名、申請地は大西地区山之内の2筆で、地目はいずれも畑、転用面積は合計8,197㎡の内2,680㎡でございます。

この申請地は都市計画区域外であり、農地の区分につきましては、1筆が農用地区域内農地、1筆が付近に第3種農地に該当する施設も見当たらず、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地であるとの理由から、第2種農地と判断されますが、申請に係る農地に代えて周辺の土地を供することにより、当該申請に係る事業の目的を達成することが出来るかどうかにつきましては、譲受人が露天資材置場を整備あたり、必要な条件の整った土地は申請地以外にないとの申出であり、3年以内の一時転用でありますので、農地の区分と転用目的は問題ないと思われま

す。事業計画につきましては、譲受人は大西地域で造船事業を営む法人が発注する第1ドック拡張工事に携わることとなり、工事中に発生する掘削残土の仮置き場を確保する必要が生じたことから、大型車両の出入りが容易で残土の仮置き場に適した申請地を賃貸借し、露天資材置場として一時転用しようとするものでございます。

申請年月日、農業委員会の受付日は令和7年10月31日で、許可日から令和8年2月28日までに事業を完了する予定となっております。

続きまして、手元にお配りしております農地法第5条の許可に係る申請書ごとの要件確認書ですが、9ページ以降をご覧ください。

それでは農地法に基づく農地転用許可の検討事項についてご説明いたします。

農地法に基づく農地転用許可の検討事項を要約いたしますと、

- ① 農地の区分と転用目的の妥当性が適当であるか
- ② 資力及び信用が適当であるか
- ③ 転用行為の妨げとなる権利を有する者の同意状況があるか
- ④ 許可を受けた後申請に係る用途に遅滞なく供することの確実性があるか
- ⑤ 申請に係る事業の施行に関して行政庁の免許、許可、認可等の処分を必要とする場合において、その見込みが確実であるか
- ⑥ 申請に係る農地と一体として申請に係る事業の目的に供する土地を利用する見込みが確実であるか
- ⑦ 申請に係る計画面積の妥当性が適当であるか、宅地の造成のみを目的とする場合においてはその妥当性が適当であるか
- ⑧ 周辺の農地等に係る営農条件への支障がないか

⑨ 一時転用である場合にはその妥当性が適当であるか  
ということでございます。  
それぞれの案件について、審査基準のすべての項目ごとに、申請書等に記載された内容が当該基準に適合しているかどうか検討した結果については、ご覧いただいておりますそれぞれの要件確認書のとおりとなっております、いずれも適当であります。  
また、地区小委員会におきましても、いずれも適当との意見となっております。  
以上で説明を終わります。

議長 説明が終わりましたが、ご意見、ご質問ありませんか。

全員 (意見、質問なし)

議長 原案どおり、転用及び事業計画変更はやむを得ないものとして知事に進達することに、ご異議ございませんか。

全員 (異議なし)

議長 それでは、3件とも申請地が優良農地の転用に係る案件でありますので、農業会議の意見を聴いたうえで、知事に進達いたします。

議長 続きまして、  
議案第58号 農用地利用集積等促進計画関係（農地中間管理事業）について事務局の説明を求めます。

事務局 それでは、ご説明いたします。議案書4ページをお開きください。  
議案第58号は、農地中間管理事業による農地の貸し借りであり、貸す人と借りる人との間に農地中間管理機構を経由する3者間での権利設定となっております。  
今回、今治市全体の計画の件数は新規10件、面積は13,697㎡となっております。  
それぞれの小委員会で内容について審査していただいた結果、耕作に供すべき農用地の全てを効率的に利用し、耕作に必要な農作業に常時従事しているか、などが定められた、農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第5項第2号及び第3号の要件を満たしているため、各委員の意見は「適当である」とのことでした。なお、当該計画を定めることについて、本市の農林水産課に意見を求めたところ、「異議なし」とのことでした。  
以上で説明を終わります。

議長 説明が終わりました。

以上の計画は、いずれも適当との意見であります。ご意見、ご質問ありませんか。

全員 (意見、質問なし)

議長 それでは、農用地利用集積等促進計画関係につきましては、原案どおり決定ということでよろしいでしょうか。

全員 (異議なし)

議長 それでは原案どおり決定いたします。

議長 続きまして  
報告第 32 号 農地法第 3 条の 3 の規定による届出について  
報告第 33 号 農地法第 5 条第 1 項第 6 号の規定による届出について  
一括して事務局の説明を求めます。

事務局 それではご説明いたします。  
議案書 5 ページから 8 ページの報告第 32 号 農地法第 3 条の 3 の届出につきましては、許可を受ける必要のない権利取得の届出で、今月は 12 件の届出がありました。取得事由は相続および時効取得であり、権利内容は所有権が 12 件、賃借権が 2 件でありました。  
議案書 9 ページの報告第 33 号 農地法第 5 条の届出につきましては、市街化区域内の権利移転を伴う転用でありまして、今月は 1 件の届出があり、面積は 165 m<sup>2</sup>でありました。  
報告第 33 号につきましては、小委員会において、小作地でもなく転用について問題ないとの意見を受けております。  
なお、報告第 32 号及び第 33 号は、いずれも受理済の案件でありますので、個々の説明は省略させていただきます。  
以上で説明を終わります。

議長 説明が終わりましたが、ご意見、ご質問ありませんか。

全員 (意見、質問なし)

議長 報告事項でありますので、ご了承願います。

議長 それでは、本日予定しておりました議案につきましては、以上をもちまして全て終了いたしました。せっかくの機会でございますので、何かございませんか。

全員	(意見なし)
議長	意見もないようですので、以上で本日の総会を閉会いたします。お疲れ様でした。
<b>【閉会后】</b>	
事務局	事務局から、次回の総会の日程について連絡します。 次回の総会ですが、令和8年1月9日 金曜日 午後2時から今治市役所第2別館11階特別会議室1号2号で開催しますので、よろしくお願ひします。